

## ICT実践シート 小学部①

観点	コミュニケーション支援 ・ 活動支援 ・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">学習支援</span>
目的・実態	<p>対象：Ⅲ類型 5年生女子 自立活動の時間</p> <p>実態：座位や立位の保持を目指す児童であるが、活動へ向かう気持ちを保つのが難しい。</p> <p>目的：iPad で好きなアプリや音楽動画視聴の操作をすることで、意欲的に活動に取り組ませたい。また iPad の操作を通じて興味関心の幅を広げさせたい。</p>
方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5月 リズムアプリ、タッチすると水の音が鳴るアプリを手で操作しながら、背もたれのない椅子で座位を保持した。</li> <li>・ 6月～ウォーカーで歩く先の方に iPad を設置し、そこまで行けると指で操作（タッチ）し、好きな音楽を1分聞く。</li> <li>・ 7月 タッチペンを使う。</li> <li>・ 11月～iPad タッチャーを使って動画の再生、停止をする。</li> </ul>
成果（有効だった点／児童生徒の変容等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 座位や立位保持の活動への向かう気持ちの持続方法として、アプリ（たいこ遊び、Wa kingyo）や動画視聴（YouTube）の操作は有効的だった。飽きることなく10～15分集中して活動することができた。iPad に手を伸ばし、操作に興味を示していた。</li> <li>・ iPad タッチャーに操作方法を変えると、指で押すよりも操作を自分でしているのが感じられたようで、表情よく活動することができた。</li> </ul>
課題・改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ iPad のタッチの反応が良くないことも多く（指でのタッチの仕方が難しい。）教師と一緒に操作するが、上手くいかないことも多かった。ペンの使用も教師と一緒にいったが操作をした感覚が薄いようで児童の良い反応はあまりなかった。</li> <li>・ 改善方法として iPad タッチャーを使用した。スイッチを押す力加減のコントロールが必要だと感じたため、継続して使用しながら慣れさせて行き、興味関心が持続できるようにしていきたい。</li> </ul>

